

皇室と近代の陶磁 三の丸尚蔵館名品展

会期：2023年9月16日(土)～12月10日(日)

展覧会概要

三の丸尚蔵館收藏の皇室の近代陶磁器の名品に、茨城県陶芸美術館の所蔵品を加えた115点の作品によって、近現代の日本陶磁の歴史を一望します！



三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた美術品を收藏管理・調査・公開する施設として平成5年に開館しました。收藏品は宮中での御慶事の際の献上品や展覧会での買上品など、貴重なものばかりです。

本展では明治から現代までの近現代陶磁器の名品については、三の丸尚蔵館の收藏品を中心に、茨城とゆかりの深い作家の作品については、茨城県陶芸美術館の所蔵品と個人蔵の作品を加えて紹介します。

見どころ

- ・皇室に代々伝わった、近代以降の陶磁器の名品を一堂に展示。
- ・宮殿を彩った花瓶や有名作家作品など、歴史的にも価値ある名品を数多く紹介。
- ・三の丸尚蔵館学芸員による講演会など、皇室とやきものつながりを深く知ることができるイベントが盛りだくさん。

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012

<https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

開催概要

展覧会名	皇室と近代の陶磁 三の丸尚蔵館名品展
会 期	2023年9月16日(土)～12月10日(日)
会 場	茨城県陶芸美術館 地下1階企画展示室
主 催	茨城県陶芸美術館、宮内庁
特別協力	文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
後 援	笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局
開館時間	9時30分～17時（入場は16時30分まで）
休 館 日	毎週月曜日（ただし、9月18日、10月9日、11月13日(県民の日)は開館）、 9月19日（火）、10月10日(火)
観 覧 料	一般840(680)円 70歳以上420(340)円 高大生630(520)円 小中生320(260)円 ()内は20名以上の団体料金。 土曜日は高校生以下無料。 11月13日(県民の日)は無料。 老人週間(9月15日～9月18日、20、21日)は満70歳以上の方無料。

広報文1（44文字）

三の丸尚蔵館が収蔵する作品から、皇室に代々受け継がれた近現代の陶磁器の名品を紹介します。

広報文2（103文字）

三の丸尚蔵館が収蔵する、皇室に代々受け継がれた明治・大正から現代までの名品によって、近現代の日本陶磁史を展覧します。地元・笠間や兄弟産地・益子ゆかりの作品は茨城県陶芸美術館のコレクション等も加えて紹介します。

広報文3（174文字）

三の丸尚蔵館が収蔵する、皇室に代々受け継がれた明治・大正から現代までの名品によって、近現代の日本陶磁史を展覧します。明治・大正期は宮川香山や板谷波山ら皇室技芸員の名品から、昭和期以降の展開については富本憲吉や河井寛次郎ら個人作家の作品から日本陶磁の近代を辿ります。また、茨城県笠間と兄弟産地の隣県益子ゆかりの作品については、茨城県陶芸美術館のコレクション等を加えて紹介します。

プレスレビューのお知らせ

9月15日(金)13時00分より **プレスレビュー**を行います。

出品作品画像

下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。
使用の際には作品キャプション（収蔵を含む）併記してください。

広報用画像(ポスター画像)		※画像のみを使用する場合は以下のキャプションを掲載してください。					
		<p>①</p>  <p>六代錦光山宗兵衛 金鶏鶯鶯図花瓶 明治時代前期(19世紀) 三の丸尚蔵館収蔵</p>	<p>②</p>  <p>幹山伝七 四季草花図食器 明治時代前期(19世紀) 三の丸尚蔵館収蔵</p>	<p>③</p>  <p>初代宮川香山 竹籠に葡萄虫行列図花瓶 明治10年(1877) 三の丸尚蔵館収蔵</p>	<p>④</p>  <p>三代清風與平 旭彩山桜図花瓶 明治38年(1905) 三の丸尚蔵館収蔵</p>	<p>⑤</p>  <p>加藤友太郎 玉蜀黍図花瓶 明治34年(1901) 三の丸尚蔵館収蔵</p>	<p>⑥</p>  <p>富本憲吉 色絵四弁花角飾箱 昭和33年(1958) 三の丸尚蔵館収蔵</p>

展示構成 (I~IV章)

第I章:「明治陶磁と帝室技芸員」

明治時代の陶磁器の多彩な展開について、輸出陶磁器の花形となった薩摩様式と呼ばれる作品群や、明治宮殿を彩った花瓶や、京都の陶工・幹山伝七の豪華な絵付けの和食器など、皇室に伝わった名品を紹介しします。また、戦前の優れた美術家に与えられた栄誉職である帝室技芸員のうち、陶磁器分野の5名の中から4名の作品を一堂に展示しします。

(出品作家:幹山伝七、加藤友太郎、三代清風與平、初代宮川香山、板谷波山ほか、26点)

第II章:「大正・昭和初期の陶芸」

明治33年(1900)のパリ万国博覧会での輸出陶磁器の不振を受けて、陶芸界にも図案の重視や個人の創意による創作への比重が強まります。京都市陶磁器試験場を中心に活躍した作家の作品や、昭和2年(1927)に創設された帝展第四部(美術工芸)への出品作などを紹介。他にも陶彫と呼ばれる彫刻の技法を陶に用いた作品についても展示しします。

(出品作家:小森忍、河井寛次郎、二代宮川香山、沼田一雅、五代清水六兵衛ほか、25点)

第III章:「個人作家の登場」

昭和前期には中国陶磁や桃山陶器、民藝運動などを拠り所に、自身の創意によって作風を展開する個人作家が登場しします。戦後に重要無形文化財保持者や文化勲章受章者の認定を受けたこれらの作家を中心に、昭和から平成にかけての日本陶芸の流れを概観しします。併せて荒川豊蔵の茶碗に秩父宮勢津子妃が絵付けを施した貴重な合作も紹介しします。

(出品作家:富本憲吉、楠部彌弼、石黒宗麿、十代三輪休雪(休和)、荒川豊蔵ほか、31点)

第IV章:「笠間・益子の陶芸」

茨城を代表する窯業地である笠間と、隣県の兄弟産地である益子は、明治以前の日用雑器の産地から、大正、昭和を通じて個人作家の活動の拠点として変化していきます。現代では食器作家や自由造形の作家も含む多様な産地として活況を見せる両産地の展開を、三の丸尚蔵館の収蔵作品に茨城県陶芸美術館の所蔵作品と個人蔵の作品とを加えて紹介しします。

(出品作家:笠間:埴彰堂、松井康成、丘上八雲、五味謙二 益子:濱田庄司、島岡達三、加守田章二ほか、32点)

関連企画

(1)講演会「皇室と近代の陶磁 —三の丸尚蔵館収蔵品に見る」(予約優先/定員90人)

内容: 三の丸尚蔵館学芸員の岡本隆志氏が、皇室に伝えられた陶磁器の名品の数々とその魅力について講演します。

日時:9月16日(土)13時30分から15時まで

講師:岡本隆志(宮内庁 三の丸尚蔵館学芸室 主任研究官)

会場:当館1階 多目的ホール

参加費:無料(要企画展観覧料)

予約方法:右記QRコード、または電話にてお申込みください。

電話予約:0296-70-0011

<予約フォームQR>

受付開始日時8月29日(火)から

空き状況により当日参加可



(2)九重茶会 一見て 触れて 感じる 一波山工房ロケセット呈茶会(要予約/各席定員10名)

内容:波山にちなんだロケセットでの呈茶会を、当館学芸員による作品のタッチ&トークと共に楽しみいただけます。

席主:海老澤宗香氏

日時:10月1日(日) 一席10時00分から、二席11時00分から、三席13時00分から、

四席14時00分から、五席15時00分から

場所:当館波山工房ロケセット

参加費:500円(要企画展観覧料)

定員:各席定員10名、抽選。詳細はお電話でお問い合わせください。

予約方法:右記QRコード、または電話にてお申込みください。

電話予約:0296-70-0011

<予約フォームQR>

申込期間8月29日(火)から9月18日(月)まで

抽選結果は9月20日(水)以降にお知らせします。



(3)ギャラリートーク(予約不要)

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日時: 11月4日(土)、12月2日(土)各日とも13時30分から14時15分まで

会場:当館地下1階 企画展示室 参加費:無料(要企画展観覧料)

◆BOOKコーナー もっと知りたい! 皇室と地域の文化 茨城県立図書館タイアップ企画

会期中、館内に展覧会に関連した皇室や笠間・益子の関連本コーナーを開設し、ご自由にご覧頂けます。

会場:当館地下1階 オープンギャラリー

◆つくば美術館土曜講座

「三の丸尚蔵館の名品から見る皇室と陶磁器の近代」

講師:飯田将吾(茨城県陶芸美術館主任学芸員)

日時: 10月14日(土) 13時30分から

会場:茨城県つくば美術館 2階アルスホール

TEL:029-856-3711

※詳しくは茨城県つくば美術館へお問い合わせください。

◆こどもワークシート

企画展「皇室と近代の陶磁 三の丸尚蔵館名品展」をよりよく楽しむためのワークシートを館内で配布します。

当館ウェブサイトからもダウンロードしてお使いいただけます。

問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)

TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012

展覧会担当:学芸課 主任学芸員 飯田将吾 e-mail:iida.syougo@post.ibk.ed.jp

主任学芸主事 岩井基生 e-mail:iwai.motoki@post.ibk.ed.jp

広報担当:企画管理課 主任学芸主事 塚田 巧 e-mail:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp